

第68号（令和6年度第4号）

わくわく通信

令和7年3月発行

【発行者】

特定非営利活動法人 わくわくネットいわき

〒970-8028

福島県いわき市平上神谷字神谷分 22-1

TEL 0246-57-0255

FAX 0246-57-0256

「多くの人材を育ててくれた」障がい児・者施設

鎌田真理子様(医療創生大学 心理学部教授)

私が勤務するいわき市内の医療創生大学は 2019(平成 31)年に名称変更をしました。以前はいわき明星大学として人文学部現代社会学科と心理学科の学生が、県内初で社会福祉士と精神保健福祉士の受験資格を得ることができていました。残念ながらこの資格取得の過程は 2001(平成 13)年度から開始され 2017(平成 29)年度迄に廃止になりました。

当時は県内に同様の過程を持つ大学が無く、検討を重ねながら至ったのが、プレ実習制でした。福祉について白紙状態の学生に対して、福祉現場での実践力や福祉の倫理の修得などを踏まえ、誠実に学生を育てていただける先生を探した結果、たどり着いたのが新妻寿雄代表と渡邊明先生でした。お二人は学生たちからも信頼を得て熱心に学生を育ててくださいました。

「わくわくネットいわき」の職員の方たちから、専門的かつ熱心で優しく丁寧な助言をもらいながら、学生たちは確実に育ちあがり、その後の本実習に安心して向かうことができました。その後卒業生たちは市内に限らず、県内外での大学病院、研究・教育機関、施設経営、行政、民間施設などで活躍をしています。

私は「わくわくネットいわき」の新妻代表をはじめとした職員のみなさまと事業所に接するたびに、事業所のサービスと、そこで働く専門職の姿に感銘を受けます。この感情の記憶は北海道の「べてる浦河」とつながります。両者の機関は利用する人たちが幸福感や充実感を感じながら地域で暮らすことができます。その環境や状態をつくり上げるには、事業所としてのサービス内容と質、職員の姿勢にかかってきます。サービスでは利用する人に対して個性を尊重し、人としての尊厳を守り、利用児と保護者の方たちへの寄り添う姿勢でいることです。また職員たちは国内外の新しく確実性の高いスキルと知見や療法を取り入れ考え習熟している点です。

「わくわくネットいわき」は、べてる浦河と同様にどのような種が飛んできても芽が出て立派に育つ良い土としてあり続けると思います。現在の組織をつくり上げた新妻代表と職員のみなさまに感謝を申し上げます。

★ チャレンジの我が家の逸品 ★

今年の夏に塗装工事が行われました。塗装工事のため、建物全体に足場組み立てによる外見が変わることや、足場に組まれている階段、塗料の臭いが懸念されたため、ソーシャルを作成し、事前告知を行いました。

チャレンジの壁塗りについて



7月16日から8月19日までの一か月ほど、チャレンジの壁の色を塗ります。

色を塗っている間は、足場と言われるものが、チャレンジの壁に作られます。



足場は工事をする人たちが使うものです。




壁に色を塗る時には、ペンキを使います。
ペンキはにおいがすることがあります。
においは、壁塗りが終わると、少しずつなくなります。



見る

足場はさわったり、使うことはできませんが、見ることはできます。



工事




気になること、わからないことがある時には、チャレンジの職員さんに聞くといでしょう

工事が始まると、外見が変わったことによる混乱なのか、自傷要因の一つとなってしまった可能性がある方がいらっしやいましたが、伝え続けることで自傷は2日程でなくなりました。

嗅覚過敏の方は、以前(2年前)加湿器の臭いが気になり『壊す』と言って破壊行動がありました。事前に伝えていたことで「臭いがするね」と、職員に伝えることができ、破壊行動には至りませんでした。

また、塗装が終わり足場撤去された時にも、塗装終了したことをソーシャルで報告しました。

チャレンジの壁塗りについて



7月16日から8月28日までの一か月ほど、チャレンジの壁の色を塗りました。




8月28日に工事が終わったので、
8月29日から足場が無くなりました




工事が終わっても、ペンキの臭いがあります。
ペンキの臭いは時間をかけて無くなっていくものです。




困った時や、話を聞いてほしい時には、職員さんにお話しをすると良いでしょう



チャレンジがきれいになったことは、とても嬉しいことです。
ご協力、ありがとうございました。

利用者様からは「きれいになったね」「足場取れてよかった」等の声が聞かれることや、笑顔も見られました。

チャレンジに通所している利用者様は環境変化が苦手です。「なんとなくわかる」から始まる理解を「これならわかる」に繋がられる支援を今後も続けていきたいです。

卒業によせて 保護者様より

私たち家族のゆいまーるふくしまとの関わりは3年9か月、息子の療育については2年9か月お世話になりました。この3月で卒業かと思うと寂しい気持ちでいっぱいです。最初は親として何をしたらいいのかわからないことだらけで不安でしたが、保護者学習会やペアレントトレーニングへの参加、紹介していただいた自閉症に関する本を読んだりして息子の特性を理解し、困りごとがあると管理者の渡邊さんに相談して対応を教えていただく等して息子への寄り添い方を学んでいくことができました。問題を家族だけで抱え込まず相談ができるところがあることは本当に心強かったです。特性があるこどもを育てることは大変ですが、息子のかわいい笑顔を見てよし頑張ろうという気持ちを奮い立たせることができるのもゆいまーるさんのご協力のおかげです。

4月からはセカンドハウスわくわくさんを利用するので、わくわくネットいわきさんにはまだまだお世話になりますが、いつもこどもと保護者に寄り添い、愛情をもって接してくださるスタッフの方には感謝してもしきれません。本当にありがとうございました。そしてこれからもよろしくお願いします。

ゆいまーる・ふくしま 草野 典子様 (僚太くんのお母様)

わくわくに通い始めた頃は、困り事を何から伝えれば良いかわからないほど、我が子との関わり方に悩む日々を送っていました。

この2年間で、少しずつできる事が増え、また、その細かな成長を、先生方が私たち親に逃さず伝えてくださる為、気付かずにいた彼女の成長や頑張りも知れ、励みとなりました。

以前先生がおっしゃった、「勝手には成長しない、その分一般の子よりも子育ての醍醐味を味わうことができる」といった旨の言葉が、今では支えとなっています。この子だったから、これほどまでに表情や素振りを逃さぬよう気かけ、深く考え、共に成長できているのだと思います。彼女を受け止められるようになったのは、わくわくで私たち親も学ばせていただき、そして支えていただいたお陰だと深く思います。

これから新たなステージに進みますが、これからも子育ての醍醐味を満喫しながら、彼女と共に成長していきたいと思います。ありがとうございました。

わくわくキッズ 鈴木結柳さんお母様



「小学部卒業にあたり」

ランドセルが黒光りしまだ綺麗な状態ですが、小学部を卒業する運びとなりました。

わくわくさんとは発達障害と認定され、知識がなく不安しかない未就学児から寄り添い頂き、日常の悩みを相談しアドバイスを頂けるという理想的な環境を築いて頂きました。

辛すぎた経験も今となっては笑い話となり、そして良き経験であり心の余裕すら感じます。

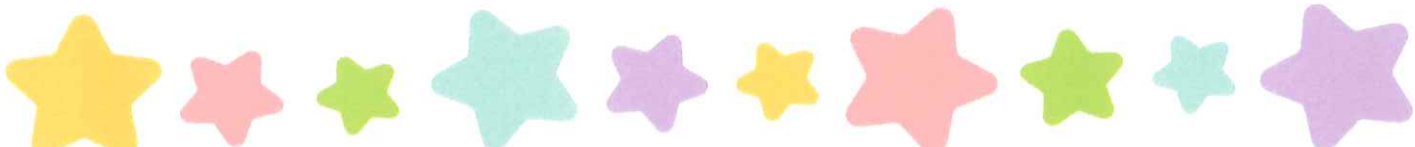
小学部卒業、そしてセカンドハウスわくわく卒業にあたり、不思議と不安はありません。

これまでご教示頂いた支援を基にしっかりと寄り添い、今後の成長を楽しむ所存です。

支援を要する児童へはもちろん、保護者への的確なアドバイスを頂ける手厚い環境作りには心から感謝申し上げます。今後も悩み多き保護者をご指導くださいませ！



セカンドハウスわくわく 塩 俊昭様



息子はわくわくキッズ・わくわくほっぷ・行動援護と15年間お世話になりました。

話す事も相手の言っている事も理解できない息子とのコミュニケーションは絵カードが有効と知り視覚支援が始まりました。

相手の言っている事を理解できるだけでなく自分の気持ちを伝え・選択する事も覚えると表情がおだやかになりました。

スケジュールで見通しができても今楽しい事を中断する、次の事はやりたくないとかがある時は大変でパニックや自傷もありましたが、今はその先の楽しい事にも目が向けられるようになり折り合いをつけられるようになりました。

そのおかげで大暴れだった注射も自分で日付を決め手順書を見ながら練習し今では私と2人で病院へ行けるようになりました。

自己肯定感についても勉強会で学び人からもらうだけではなく人にあげる事ではじめて自己肯定感は高まると知ってからは息子にお願いしてやってくれた事に「ありがとう」を言うようにしています。

言葉のでない息子とここまでおだやかに日々過ごせるのはわくわくでの学びがあったからです。本当に感謝しかないです。15年間ありがとうございました。



セカンドハウスほっぷ 佐藤 忍様(蒼汰様のお母様)

保護者学習会

令和7年2月15日(土)にセカンドハウスわくわく、セカンドハウスわくわくほっぷ、チャレンジドの合同で保護者学習会をわくわくキッズで開催いたしました。今回は株式会社 JIC の佐々木様、御子芝様をお招きし“親なきあとの保障制度について”と題し講演いただきました。

参加された保護者様からは、「保障制度があることを知るいい機会となりました」、「将来に備えての判断材料の1つとなりました」、「具体的なイメージができました」等の感想を頂きました。

今後も保護者様とともに学ぶ機会の開催を行っていきたいと思います。

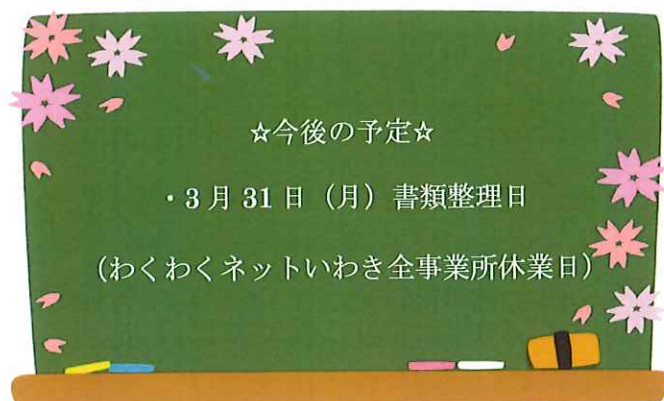


新任職員紹介



11月18日からわくわくキッズで勤務しています。初めての就職であり、初めての経験ばかりで慌てふためいてしまうこともあります。職員の皆様のご指導の下、日々利用児様と一緒に成長させて頂いております。至らない点が多々あるかと思いますが、よろしくお願いします。

橋本悠香
(わくわくキッズ勤務)



★おしらせ

- ※受給者証が新しくなりましたら、できるだけ早く事業所へご提示下さい。
- ※日頃から空き缶等のご寄付をいただき、誠にありがとうございます。
今後ともアルミ缶、ペットボトル、古いシーツ、タオルケット等のご寄付のご協力をお願い致します。
- ※事業所をご利用される場合は、持ち物にお名前をご記入して下さるようお願い致します。

★編集後記

今年度も1年があっという間でした。去年に引き続き今年も担当になり、
今年はこんなデザインにしたいな～と頭の中で思い描いていましたが、
できあがったものは描いていたデザインにはなりませんでした。
今年度も『わくわく通信』をお読みいただきありがとうございました♪
次年度も『わくわく通信』をよろしくお願ひします(*´ω`*)

知的障がい児者・自閉症児者の 生サポは 家族の安心を支えます

発達障がい児者の方もご加入いただけるようになりました。

- 日常生活に関する相談支援
 - 就労に関する相談支援
 - 権利擁護に関する相談支援
- の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、
知的障がい児者、自閉症児者のための
病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

AIG損保の普通傷害保険

生活サポート総合補償制度

病気やケガで入院したとき
入院給付金

ケガをしたとき
死亡・後遺障害・入院・通院・手術／各保険金
(地震・噴火・津波によるケガも対象)

病気で死亡したとき
疾病葬祭費用保険金

賠償責任を負ったとき
個人賠償責任補償

虐待・逮捕・勾留に対応するとき
弁護士費用等補償

就労中に他人にケガをさせたり
物を壊してしまったとき
職業従事中事故対応費用補償

※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、職業従事中事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者
株式会社 ジェイアイシー 南東北支店
〒980-0804 仙台市青葉区大町2-3-11
レイTONビル7F
TEL: 0120-294-747(フリーダイヤル) FAX: 022-264-0081
受付時間: 午前9時～午後5時
(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社
AIG損害保険株式会社
<https://www.aig.co.jp/sonpo>
仙台支店
〒980-0811 仙台市青葉区一番町1-8-3 富士火災仙台ビル3階
TEL: 022-726-7551
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご入会のお問合せはこちら

福島県知的障害児者生活サポート協会
〒960-8141 福島市渡利字七社宮111
福島県総合社会福祉センター
福島県手をつなぐ親の会連合会内
TEL: 024-573-5980 FAX: 024-522-7228

2024年1月現在の内容です。(D-007027 2025-03)